



図 15 中間報告と本検討における観測値と地震動計算結果との比較 (その2)  
 地表の計測震度。中間報告および新モデル (従来の手法) は 1km メッシュ、新モデル (新しい手法) は 250m メッシュ。新モデルでは新しい深い地盤構造モデルを用いている。(従来の手法) および (新しい手法) とは最大速度の増幅率と計測震度換算式の違い。中間報告の値は、中間報告の結果に比べ要素断層を 2km 四方とした効果により大きくなっている。